

優しい風の吹く街



2024年度から2025年度へと、宝塚市は市長が交代する大きな節目を迎えています。宝塚市議会は二元代表制の一翼を担う立場であると自覚し、新市長としっかり議論を積み重ねて、よりよい宝塚市をつくるために一層努力していきます。

また、本年1月に市職員を対象に実施した「議員からのハラスメントアンケート」の結果から、問題ある言動を検証し、宝塚市議会のハラスメント防止のための具体的なとりくみをすすめていきます。

3月議会報告

2月25日から3月19日

2025年第1回宝塚市議会定例会

2月25日 議場コンサート

神戸女学院大学音楽部4年『音楽によるアウトリーチ』
議会を知ってもらう機会にと議会初日に開催しています。
多くの市民が来場され、美しい歌声に心が和みました。



■一般会計予算 → 歳入歳出それぞれ945億5千万円

主な歳出予算は 総務費：約100億円 民生費：約435億円 衛生費：約108億円 土木費：約65億円
教育費：約132億円（4月に市長選挙がおこなわれるので今回は骨格予算）

■水道事業会計予算 → 事業収益：約52億円 事業費用：約52億円（300万円黒字）

■下水道事業会計予算 → 事業収益：約42億円 事業費用：約45億円（3億円赤字★）

■病院事業会計予算 → 収入総額：約139億円 支出総額：約142億円（2億円赤字★）

★過年度分損益勘定留保資金等で補填



・医療情報システムの導入・更新

・手術支援ロボット「ダビンチ」導入

前立腺や腎臓、胃、腸などのがん摘出手術に使用する。繊細な動きによる正確な処置をおこなうことで術後の回復を早めることができる。医師の負担軽減によって、手術の安全性も高まる。

請願第12号「選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書の提出についての請願」は賛成多数で採択されたが、国への意見書は2会派の反対で見送られた。

賛成討論のポイント

- 選択的夫婦別姓制度の導入を認めた1996年法制審議会の答申から30年。
- 経団連は夫婦別姓を認めないことがビジネス上のリスクとして制度の導入を提言。
- パスポートやビザの戸籍名と通称が違うため不正が疑われたり研究者のキャリアが分断されたりする。
- 同姓夫婦・別姓夫婦はいずれも同じ戸籍に在籍し、機能は変わらない。
- 子どもが可哀想なのは？
→しかし事実婚・国際結婚・離婚・再婚家庭など、親子の姓が異なる家族はすでに存在している。
どんな子どもも尊重される社会にしていくことが大切。
- 夫婦が同等の権利を有するという憲法第24条に照らして、姓を変えることも変えないこともどちらも自由に選択できる社会になることがもめられている。
- 訴訟においても最高裁判所は国会での解決を要請。



紹介議員／北野・寺本・大島・みとみ



トピックス

3月2日 民主主義ユースフェスティバル神戸

風のこころ

2025年4月で山崎晴恵市長が退任されます。初めの2年間は、新型コロナウイルス対策における給付金事業、ワクチン接種、市立病院での患者受け入れ等で大変な時期に指揮をとり、困窮する大学生や女性への支援と奨学金給付にもとりくまれました。

その後は財政健全化にとりくむ中でも、「子どもまんなか応援サポーター」を宣言し、スクールロイヤーを配置、学校に行きづらい子ども支援、放課後子ども事業拡大などを実施されました。さらにはクリーンセンター建替工事着手、そして市立病院建替にも多額の寄付金を得て一定の道筋が示されました。

4年間本当にありがとうございました。この行政経験をもとに、人々に寄り添う弁護士として、ますますのご活躍をお祈りいたします。

